

たんぽぽ通信

1月1日発行 191号
 ケアハウス王喜の郷 令和5年1月号

Webページ <http://www.ryokujyukai.jp>

恭賀新年

昨年(2022年)2月に始まったロシアとウクライナの戦争が終息せず、それは世界全体の情勢を一段と不安定にしています。私どもの身の回りでは長く続いたデフレも終わり、物価が驚くほど上がってきています。食材が、電気代がと次々にやってきましたが、生活物品すべてにわたって値上げになっています。20年以上の安定した物価が一挙に崩れました。第二次大戦後に神武景気、岩戸景気、いざなぎ景気と大きな物価の変動を体験されてこられた皆様もどうなる事かとご心配になられることでしょう。これから物価以外の影響がどのように出てくるか大変心配です。本年4月1日より「こども家庭庁」が発足します。これからの次世代を育てていく私どもの役目が問われている気がします。景気の底上げは、便利さ、いろんなものを手にできるという豊かな生活を私達にもたらしめました。結局そのような「豊かさ」の方向性が「家族」を変え「家庭」が変わり豊かではない人間関係の中で次を模索していく一つになりました。私ども社会福祉法人は事業の中で、さまざまな「人」の生活の支援を行っています。どのように支援させて頂ければ皆様の「生活の質」が高まるのかをいつも問い続けています。たんぽぽ通信で、王喜の郷職員が皆様の「生活」の支援を視座に据えていることがお分かりになって頂けると思います。今年も職員ともども健康に留意し、楽しく仕事をさせて頂けるように願っています。

施設長 末谷千秋



1月のお誕生日 & 行事予定

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
元旦			レトロコンサート	小寒		七草
8	9	10	11	12	13	14
	成人の日		鏡開き			
15	16	17	18	19	20	21
小正月	ビューティーヘルパー				大寒	
22	23	24	25	26	27	28
			レトロコンサート			
29	30	31				

*誕生日: お名前記載の方の誕生日です。ささやかなカードとお菓子をプレゼントさせて頂いております。
 ***ビューティーヘルパー: 出張の理美容です。食堂白板に申込みを貼っています。ご記名ください。
 ****イズミ行き: 午後1時出発、2時半頃帰着。長府ゆめタウンへの買い物バスです。(月に5回)⇒しばらくお休み。
 *****レトロコンサート: 午後1時半~3時 昔懐かしいレコードやビデオを観たり、歌ったりお茶もあります。
 ☆第1水曜日はケアハウス食堂・第4水曜日は隣のシニアハウス。同じ内容です。参加費300円
 ****ななの会(習字)はお休みさせていただきます。

昭和レトロコンサート

没後三〇年
 作曲家 服部良一「栄光の旋律」

「別れのブルース」「銀座カンカン娘」「青い山脈」ほか

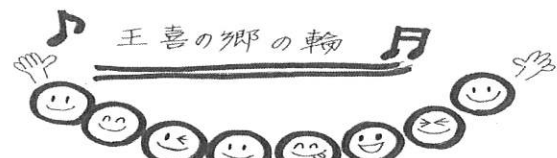
日時 一月四日(ケアハウス王喜の郷・食堂)十三時三〇分~十五時

一月二十五日(シニアハウス王喜の郷・食堂)十三時三〇分~十五時

♪懐かしいあの日、あの時の思い出が鮮やかによみがえるコンサートをお楽しみください♪

【会費】 三〇〇円(お茶代・資料代) ※今月は第1・第3水曜日に開催します

【お問い合わせ】 山根(ミント) 中村(ケアハウス)



王喜の郷の輪 第3回
 宮崎隆夫様 (3/3)
 (社会福祉法人緑樹会理事)

令和4年のコロナはワクチン接種が進み終息するかと思われましたが、大きな改善も見られず早い収束が待たれるところです。王喜の郷にはご年輩の皆様も多数在籍されておりますが、大きな影響もなく何よりです。充分な管理を継続しておられる賜物です。どうぞ充分な予防を継続してください。私も70代半を過ぎておりますのでうがいや体温測定は継続しております。予防のためマスクの着用を心掛けております。新年になっても継続しなければと思っています。

隣国中国ではコロナが再発しているが海外旅行等も再開すること。日本もその対象となっている様で一層の注意が必要です。

もう一点はロシアとウクライナの戦争が一日も早く収束することです。私は戦後の生まれですので親からの言い伝えですが、太平洋戦では大変な苦労や悲しい思いをしたとのこと。健康(コロナ等)一国際問題・世界動向に注意し幸せな新年を過ごしたいと思ひます。

宮崎隆夫



「和製ポップスの王様 服部良一」 新春のお慶びを申し上げます

令和5年の「昭和レトロコンサート」歌い始めは新年早々の4日(水)に開催します。今回は、今月1月に没後30年を迎える作曲家、服部良一作品の数々をお届けします。服部良一は外国音楽を日本の歌謡曲に取り入れ新境地を切り開きました。その初の大ヒット曲が昭和12年「別れのブルース」でした。それまで大阪の小さなレコード会社で作曲をしていた服部良一は、長男の克久が誕生、本格的な作曲家となるため東京へ進出、コロムビアレコードの専属作曲家となりました。晩年、服部は『長男の克久が誕生しミルク代を稼ぐために野心的に書いたのが「別れのブルース」でした』と語っています。服部は本牧にある一軒のバーで洋酒を傾けていた時に店の蓄音機からシャンソンの「暗い日曜日」が流れてきました。その歌声を聴き胸に哀愁が迫り心が震えました。その歌声こそ既にコロムビアレコードでスター歌手になっていた淡谷のり子でした。服部は、ここ本牧を舞台にしたブルースを作曲して淡谷のり子に歌わせようと決意しました。しかし、「別れのブルース」が完成し、淡谷のり子にレコーディングを依頼すると『私はソプラノ歌手です。こんな低い歌は歌えません』と断られましたが、服部が頼みに頼み込み淡谷のり子の歌声でレコーディングする事ができました。その後、発売から3ヶ月が経過しても売れる気配はなく、そんな時に満州(現在:中国東北部)のダンスホールでトランペッターをしていた南里文雄から服部へ手紙が届き、満州のダンスホールでは毎晩「別れのブルース」のリクエストが絶えず満州では大ヒットしていると知らせがありました。こうして「別れのブルース」は、まず外地から火が付き旋風を巻き起こし、長崎、神戸、大阪、横浜と港町づたいにヒットしながら東京で爆発的にヒットする事となりました。

そして戦後、服部は笠置シズ子とコンビを組み「ブギウギ」という新しいリズムを確立、「東京ブギウギ」など多くのブギを発表しました。また女優の高峰秀子が歌った「銀座カンカン娘」や永遠の青春賛歌「青い山脈」を発表、昭和26年には作曲作品が2000曲となり日本劇場(通称:日劇)で2週間におよぶ「服部良一作曲二千曲ショー」が盛大に開催されました。27年間で1ヶ月間に6曲か7曲を作曲した事になります。今月はリズムカルでお洒落、パワー溢れる服部メロディーをお楽しみ下さい。

ミントの家 山根 徹

ケアハウス王喜の郷

皆様おめでとうございます。

昨年12月中旬よりぐっと寒くなりました。

そのせいでしょうか？朝のラジオ体操に参加される方が少ないように思われます。寒くなると体を動かすのも億劫になります。ラジオ体操で体をほぐしながら一日をスタートさせましょうね。

たんぽぽ通信は令和5年に200号を迎えます。平成19年

2月より発行を始め、18年目に突入致します。

皆様が楽しみに待っておられるおかげです。

今後ともよろしくお願いいたします。



介護職員 中村ひふみ

ケアハウス王喜の郷(厨房)

あけましておめでとうございます。

元旦の朝食は雑煮です。地方によって出し汁が違っている事をご存知ですか。王喜の郷ではかつおぶし、すめ、鶏肉でとりますので出し汁もしっかり飲まれて下さい。

昼食はおせち料理を松花堂弁当でお出しします。

手作りで厨房の職員が心をこめて作りますので楽しみにされて下さいね。

去年は汁物の出しを丁寧にとり皆さんにお出ししました。

出し汁は材料に含まれるミネラル、たんぱく質、脂肪、ビタミン、糖質などの養分が含まれています。

体調が悪い時にも出し汁を飲めば滋養になるように作っています。これからも作っていきますので、しっかり食べて、1年間元気に過ごしましょう。

管理栄養士 河内美子

王喜の郷デイサービスセンター

明けましておめでとうございます。

デイサービスでは、昨年12月8日(木曜日)に王喜小学校4年生の児童の皆さんと、3回目の交流会を行いました。今回も前回に引き続き、新型コロナウイルス感染防止の為にテレビ交流会となりましたが、多くの方々に参加して頂きました。

児童の皆さんによる竹楽器アングルでの「ふるさと」の演奏はとても心に染み、参加者の皆さんも拍手喝采でとても盛り上がりました。質問コーナーでは参加者の一人が司会をされ、〇×クイズを行いました。様々な回答が飛び交いました。最後に「ふるさと」を全員で合唱し、無事終了しました。

本年も利用者の皆さんが健康で楽しく過ごせるよう支援しますので、宜しくお願いします。

介護職員 宮村 秀子

グループホーム王喜の郷

明けましておめでとうございます。

最近まで「寒くないね」「暖かいね」と入居者の方と外気浴に出て体操をしていましたが、「寒いね」「早よ家に入ろうや」という声が聞かれます。

「お正月がもうすぐやってきますね。」と話題になると、「一年は早いね、あっという間。この間、お正月が来たと思っていたのに。」と、話されながら「私が若い頃はこうだったよ。」と話しが盛り上がっています。

楽しい一時に、笑顔もたくさん見られます。今年も風邪やコロナ感染防止対策を取りながら、体調管理に気を付けていきたいと思えます。

今年も一年よろしくお願いいたします。



介護職員 田中美優

王喜の郷居宅介護支援センター

新春を迎え謹んでお慶び申し上げます。

旧年中はいろいろな活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございました。

年の初めに今年の目標を挙げて、少しでも達成することができるよう支援して行きたいと思えます。

毎日の習慣や毎年の習慣を継続できることや、自分らしい生活を送れることが一番の幸福であることを感じながら、健康で生活が送れればと思えます。

ちょっとしたことで「感動する」ことが大切と聞いています。声を出したり、笑ったり、毎日が明るい一年になりますように。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

主任介護支援専門員 野平 千加子

王喜の郷ホームヘルパーステーションいるか

明けましておめでとうございます。

私たちは、利用者の方が可能な限り自宅で自立した生活を送ることができるよう、日々の業務を行っています。利用者の方、一人ひとりの心身の状態を見逃さないように意識してサービスの提供に努めていますが、短い訪問時間の中で業務が中心になってしまうこともありました。

今年は心身状態の変化を見逃さないように、利用者の方に寄り添い、思いを傾聴する時間も大切にしていきたいと思えます。

利用者の方が目標とする生活が送れるようにケアマネージャーや他の職種との連携を図り、必要なサービスが提供できるよう支援していきます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

サービス提供責任者 下森 真理子

王喜の郷ミントの家 シニアハウス王喜の郷

新春

年の暮れが近くなるにつれ、大晦日や正月の思い出をいろんな方がいろいろとお話されます。やはり新年を迎えることは心が躍る事ですね。

去年は夏に向日葵を植え、大きな花を咲かせて皆さんの目を楽しませてくれました。年末にはチューリップをプランターと鉢に植えました。それぞれに植えられた利用者の方の名前を記入しています。「どんな色の花が咲くかねえ」「私は赤がいい」などお話をされたり「咲いた♪♪咲いた♪♪」と歌を歌われ、チューリップが咲く春を楽しみにされています。



介護職員 島田京子

放課後等デイサービス さくら

冬休みに入り、朝から子どもたちの賑やかな声が響き渡っています。さくらで過ごす時間が長い分、普段ではできないトランプゲーム(ポーカーや7並べ)を子どもたちが声を掛け合って一緒に遊んでいます。

ルールがわからないお友達にはわかる子がゆっくり教えながら楽しむ姿が見られています。

おやつの後片付けでも、役割分担を決めて取り組んだり、協力して取り組む姿が多く見られています。

時には意思の疎通でぶつかり合うこともあります。いろいろな体験をして、少しずついい関係性ができつつあるなあと感じています。

これからも、子ども達同士の関わりを大切に見守っていききたいと思えます。



さくら支援員 松下 美由紀